



# 吉野町だより

<http://www.yoshinocho.jp>

第 124 号

平成 26 年 7 月

1,186 部発行

事務局：松井清志  
TEL 090-7940-2365

食中毒が最盛期を迎える夏。予防の基本はキッチン周りを清潔に保つことですが、食器や冷蔵庫などの見えない汚れが分かる検査薬『アンシンチェック』があります。6回分約1000円と値段も手頃です。たんぱく質は食中毒菌などのエサとなり、汚れを放置することは、それらの菌の増殖につながる。なお、検査できるのはたんぱく質で、他の汚れや細菌等は検査できません。

## 特別折紙教室開催（第2回）

キトラ古墳の壁画に描かれている四神を4回にわたり講習いたします。作品は10月10日の吉野町文化祭に展示いたします。

日時：7月12日 土曜日 午後1時より

会場：吉野町町内会館

## 誰もが いずれは 災害弱者・ 誰もが いつでも 災害弱者

防災生活安全我聞塾主宰 佐藤榮一先生による防災リーダースキルアップ講習会に出席しました。（南区主催）

東日本大震災に遭遇して高齢者被害の過酷なことが、懸念されたとおり実現してしまいました。阪神淡路大震災の時も高齢者が被害者であったけれども支える人たちが多かった。その後、限界集落とか後期高齢者とか高齢者対策が誕生していく中で、高齢者の増加は災害時に被害者を増やすことに気づいた人はどれくらいいたでしょう。

東日本大震災で75才の被害者は、阪神淡路大震災当時は、まだ定年前の現役でした。あの時、将来、自分が75才、災害弱者の立場になると想定した人は少なかったでしょう。今働き盛りの人たちに言いたい。

2、30年後には、あなたたちも災害時援護者になっているのだ。と。そして、人口ピラミッドがピラミッドの形を失いシイタケあるいはパラソル型になっていて、あなたを支える人たちが見当たらなくなっていく。そのような現実を認識してと佐藤先生は力説しています。

講座は、「東日本大震災、高齢災害弱者に起きたこと」を分析され、クライシスマネジメントの基本が『時間の利得』で、防災減災・生命確保の基本として、時間軸で考える防災の必要性が中心でした。

大川小学校の悲劇、「山は、山であって高台ではない」避難をめぐる小田原評定（約50分間）の末、間違った判断、遅れた行動で命を失いました。

自然災害には時間差があります。その時間差を生かし危害回避行動をとることが出来ます。時間を無駄にしないための行動は、知識と技術に裏付けされた自覚が必要です。『状況即応』の適切な行動が出来るよう地震、津波、豪雨など災害の知識を身につけていきましょう。

防災アドバイザー佐藤榮一先生の防災コラムは、HPでどなたでも読めます。<http://www.hodogaya-saibora.net/backnumber.html>

この紙面でも災害コラムを順次ご紹介していきます。

## '14 夏休み町会親睦行事

### 流しそうめんと子ども縁日

月日 8月3日（日曜日）小雨決行

時間 午前10時～午後1時

※流しそうめん（午前11時～正午）

会場：吉野町町内会館

チョコバナナ・かき氷・ヨーヨーつり・スーパーボールすくい 他



## 満70才以上の吉野町会員の方へ、 長寿お祝いを贈呈いたします。

平成26年9月15日までに、満70才以上の方は、8月15日までに事務局（TEL090-7940-2365）へ、お名前・ご住所をお知らせ下さい。既にご連絡頂いた方は名簿がありますので連絡は不要です。9月6日以降に総務部よりお祝い品を贈呈にお伺いいたします。

## 吉野町なんでもNEWS

上大岡の弁護士さんがジョギング中に、吉野町掲示板の吉野町だよりを見て、地域密着型広告を出そう思いつかれたそうです。縁は異なるものですね。今月号うら表紙に掲載されています。



横浜吉野町店  
横浜市南区吉野町3-16 アニメイトビル2F  
電話 045-253-3801

たしかに明日のお手伝い  
地元のよきパートナー

横浜信用金庫

吉野町支店

〒232-0014 横浜市南区吉野町3-7  
TEL045-251-8681 (代) FAX045-251-8686

**【最初から「日本一ありき」 ～旭酒造】**

日本酒の消費量はここ40年減少の一途を辿り、販売量は約3分の1にまで落ち込んでいるそうです。山口県の山奥で小さな酒蔵を営んでいた『旭酒造』も例外ではなく、1984年の売上は1億円弱と倒産寸前の状態でした。ところがこの10年間は売上を約10倍に拡大し、直近の数年は毎年、前年比130%近く業績を伸ばしながら2013年の売上は40億円弱に。

破竹の勢いで急成長を遂げた勝因は、商品ブランドを「獺祭（だっさい）」ひとつに絞り、「獺祭」の大ヒットによってブランド価値を高めたことだとされています。

経営の先行きが見えなかったとき、「売ればいい」「安ければいい」という大量販売理論で会社を建て直そうとしていたら、今の成功はなかったかもしれません。崖っぷちの旭酒造がとった行動は、「酔うため、売るための酒ではなく、味わう酒を求めて」というコンセプトを掲げ、酒造業の原点に立ち返るべく品質重視の経営に転換したことでした。純米大吟醸酒のみをつくるという道を選び、東京圏の大消費者層にねらいを定めた大吟醸酒の開発に取り組み、その数年後に誕生したのが「獺祭」だったのです。



まったく無名の酒蔵が「味わう酒」を求め、原料や製法のすべてにこだわり抜いた「獺祭」は、最初から「日本一ありき」で作られました。売り手から見た「良いもの」が必ず売れるとは限りませんが、買い手から見た「良いもの」であれば消費者が放っておかないということでしょう。



**今月のキーワード : disaster**

ハリウッド映画としてすでに多くの国で上映されている『ゴジラ (GODZILLA)』ですが、日本では7月25日から公開です。映画の中で「あれは自然災害なんかじゃなかった」“It wasn't a natural disaster.”というシーンがあります。東日本大震災も“disaster”（ディザスタ）と言われるように、この単語には「災害」「惨事」の意味が含まれています。また、口語では“Today was a disaster!”「今日は最悪だった!」というように、「大失敗」「最悪のこと」の意味にも使われます。



「ささのはさ～らさら、のきばにゆるる～♪」は、皆様ご存知の童謡『たなばたさま』ですね。ところが昨今、この冒頭に登場する「軒端（のきば）」を知らない子どもたちが増えているのだとか。軒端とは読んで字のごとく「軒の端」、つまり屋根の下端で建物の壁より外に張り出しているあたりのことを指します。しかし、マンションなどの集合住宅や個人宅でも軒のないデザインが多く見られるようになったせいもあり、これも無理のないことなのかもしれません。古典をひも解けば『源氏物語』にも「軒端萩（のきばのおぎ）」という女性が登場し、光源氏から「ほのかにも軒端の萩を結ばずは露のかことを何にかけまし」という歌を贈られています。軒端とはそれだけ歴史のある日本の文化とは切っても切れない言葉なのです。7月7日は夜空の星に未来を願いつつ、次世代に古き良き日本語を伝えてゆく。こんな風情に過ごすのも、ひとつの楽しみ方ではないでしょうか。



DVD 『三谷幸喜 大空港 2013』 (2013年日本)

まな板川柳  
電池量  
少ない  
鳴る携帯  
時ほど  
（このくらい時に限って  
大事な相手なのよね）

婦人靴卸

株式会社 **タケイ**  
アウトレット部

**処分価格でお売りします。**  
市価の30%～70%引き

吉野町1-1 TEL045-251-1234

舗装工事・一般土木・駐車場

**日栄建設株式会社**

本社 〒232-0014 横浜市南区吉野町4-20  
TEL045-252-3326 FAX045-252-3924  
保土ヶ谷営業所 〒240-0051 横浜市保土ヶ谷区上菅田町281-1  
TEL045-381-7020 FAX045-381-7273



## 仕事の合い間に間違い探し!

よく見ると上下のイラストには異なる箇所が7つあります。



## 新聞でよく見かけるあの言葉

### 【今月のよく見かける言葉：：フードバンク活動】

包装ミスや形状不良、賞味期限が近いなどの理由で品質には問題がないのに通常販売ができない食品を集め、福祉施設や生活困窮者に無償提供するボランティア活動のこと。米国では40年もの歴史があり、日本でも各地でNPO法人などの団体が活動している。食品提供企業も社会貢献や廃棄ロスを減らせるメリットがある。

## 生きる力が湧いてくる! 光を放つ名言コラム

### 【今月の名言：「もっと素直にならんと」】

江戸時代から続く有田焼の名門、柿右衛門窯の前当主で人間国宝の14代酒井田柿右衛門氏の言葉です。柿右衛門氏は昨年6月に亡くなる直前まで、九州の豪華寝台列車『ななつ星』を飾る装飾品の制作に取り組んでいました。その様子を追ったNHKのドキュメンタリー番組の中で、柿右衛門氏は後継者の浩氏の絵付けを見ながら「なんでもっと真剣に描かんか」と叱責していました。「本当に頑張れば面白さが自然に出てくる」「まともにまじめに堂々とやれっていうことよ」「逃げんで」「下手でいい、不器用でいい、大いに結構」。しかし、恰好よく上手に描くというのは「嫌で嫌でたまらん」と言い、「もっと素直にならんと」と諭しました。体調が悪く、酸素吸入をしながらの叱責でした。「まじめに素直に堂々と!お前は真摯に打ち込んでいるのか?」と問われているような気がして、テレビの前で思わず背筋を伸ばしました。

### 花のある暮らしでハッピーライフ

7月の誕生花のひとつにユリがあります。切花は年中見かけますが、初夏から晩夏までが自然での開花期です。日本のユリの歴史は、球根を薬用や食用で活用することが主でした。改めて栽培しなくても山野にヤマユリ、テッポウユリ、カノコユリ、スカシユリなどが自生していたからかもしれません。園芸や装飾花として大きく注目されることになったきっかけは、江戸時代後期にシーボルトが帰国する際、日本のユリやアジサイを持ち帰ったことです。ヨーロッパにない真っ白なテッポウユリ、鮮やかな色彩のカノコユリは熱狂的な人気で迎えられ、球根は高価で取引されたそうです。明治時代にはヤマユリの球根の輸出が始まり、日本の輸出物の3位までに入る勢いでした。以後、ヨーロッパを中心に世界中で品種改良が行われ、100種類以上の品種が生み出されています。家庭園芸で育てる場合、初秋までに店頭などで球根を入手して秋の間に植え付けをします。もともと日本はユリ原種の宝庫。気候の相性はよい方で初心者でも育てやすく、また鉢植えにもできます。今はユリ園などで花を楽しみ、この秋から育ててみてはいかがでしょうか。



芹ヶ谷ホール リニューアルオープン 内覧会開催中  
家族葬 (48万円〜) ・火葬式 ・1日葬 ・一般葬

心を込めてお世話させていただきます。

吉野町町会 指定業者

有限会社 **藤 商**

(24時間受付) ☎ 0120-127-594

横浜市港南区芹が谷 3-34-2

クリーニング は

ドライショップ

**マドンナ**

〒232-0014 横浜市南区吉野町2丁目4-2-102

TEL 045-243-8985

全品 **20% off** 券 H26 8/20まで

※他のサービスと併用不可、特殊品は除く



